

個人質問

28人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載
 全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

福祉・教育

健幸ポイントプロジェクトで
市民の健康寿命延伸

問 プロジェクト参加者の特徴や傾向は。

答 男性が全体の約4割で、40歳以上60歳未満の比較的若い世代が4割を超えている。1日8,000歩以上歩き、かつ運動習慣のある人が25%。一方で、健康無関心層が約17%となっており、運動が十分でない層の約57%と合わせた約75%が、プロジェクトへの参加を契機に健康づくりや運動に取り組み始めている。

なお、平成27年度は、さらに1,000人の追加募集を行う予定。



健幸ポイント
Wellnes Point

連携により自殺予防に効果

問 こころの健康センターでの相談事業や啓発活動の効果は。

答 精神科医や心理士等による、ひきこもりやアルコール・薬物依存など、専門的な精神保健相談を行っている。例えば、救急搬送された自殺未遂者などを、救急外来からこころの健康センターへつないでもらい、再び自殺しようとするのを防ぐ仕組みをつくり、対応している。

救急外来と連携し、自殺を回避できたと判断した件数は、平

成24年度12件、25年度13件、26年度44件と増加し、効果が出ている。

普及啓発については、関係機関・団体とともに、毎年度、9月、3月を中心に街頭キャンペーンやパネル展を行っている。

朝食の摂取頻度と学力に
相関関係

問 朝食を抜いている児童生徒の現状は。また、学校で朝食を提供することも研究しては。

答 本市の平成26年度調査では、朝食を毎日食べる児童生徒は84.3%で、21年度の82.6%から改善傾向にある。

26年度にスーパー食育スクール事業の指定を受けた操南中学校では、家庭と連携しながら食生活と生活習慣の改善に取り組んだ結果、朝食の摂取頻度と学力向上の相関関係が認められ、朝食の大切さを再認識した。学校で朝食を提供することよりも、生活習慣の確立が大切であり、さらなる食育の推進や啓発に努めていく。

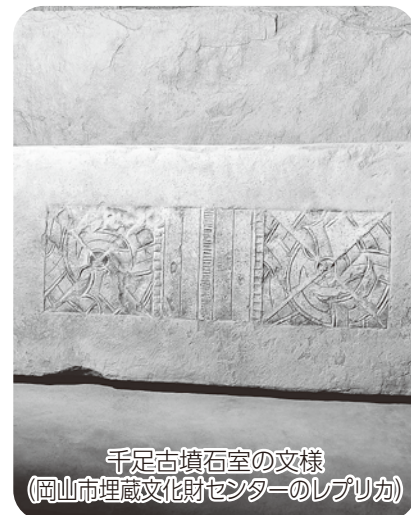


スーパー食育スクール事業の様子

自転車の交通ルールを守ろう

問 子どもたちへ意識付けのために、本市でも試験や自転車免許証を発行しては。

答 子どもたちが交通ルールやマナーを楽しく学び、交通安全意識を高め、交通事故防止につながる方法の一つとして、本市では平成27年度にモデル校を選定し、交通講習を受講した小学生へ免許証発行を予定している。今後、実施に向けて関係機関と協議したい。



千足古墳石室の文様
(岡山市埋蔵文化財センターのレプリカ)

千足古墳の整備
29年度末の完成を目指す

問 造山古墳群の保存整備状況は。また、千足古墳の地元説明会の開催時期は。

答 造山古墳主墳の周辺では、古墳の範囲を確認するための発掘調査を平成26年度に引き続き実施している。

千足古墳の整備について、27年度は主に石室周辺の防水工事と前方部の土地公有化を、28年度は墳丘の復元や石室見学施設の構築を行い、29年度末の完成を目指している。地元説明会は27年秋に行う予定。

用語解説 ※6 【スーパー食育スクール事業】

学校が、大学や企業、生産者、関係機関等と連携し、食育を通じた学力向上、健康増進、地産地消の推進、食文化理解など食育の多角的効果について科学的データに基づいて検証を行い、その成果を分かりやすく示し、普及啓発することで食育のより一層の充実を図る事業

暮らし・経済

マイナンバー制度導入に向け
きめ細やかな対応を

問 ①相談窓口や交付窓口などの準備は。②現在の住民基本台帳カードや印鑑登録カードはどうなるのか。

答 ①平成27年10月に住民登録のある全ての国民に12桁の個人番号が通知され、28年1月から個人番号カードの窓口交付が始まる。市民からの相談に対応するため、本市独自のコールセンターを9月頃に設置予定で、各区役所には必要な要員を配置する。市民のひろばおかやま10月号には個人番号カードの申請方法などを掲載予定。②住民基本台帳カードは個人番号カードと引き換えとなるが、有効期限までは利用可能で、印鑑登録カードは引き続き利用可能。

老朽化が課題の西大寺斎場

問 方向性と今後の計画は。

答 斎場は昭和56年に整備され老朽化しており、新たな施設整備に向けた検討が必要だが、進入路が民家の間を通過しており、敷地も狭いことから、現在地での建て替えは困難。現在、斎場を利用している瀬戸内市と今後について協議している。

総合型地域スポーツクラブで
市民のスポーツライフを充実

問 本市の現状と専門的知識を持った人材確保のための支援は。

答 市内には、小学校区、中学校区、市内全域のそれぞれのエリアを対象に活動しているクラブが12あり、指導者の確保や認知度の向上などが運営課題となっている。

クラブは市民が主体的に運営参画し、スポーツに親しむ場の

一つであることから、スポーツ団体指導者派遣事業を展開している岡山県体育協会など関係団体と連携し、活動に関する情報提供や活動場所の確保などの支援を通じて、クラブの育成に取り組みたい。

自転車事故保険へ加入を！

問 啓発、普及の取り組みは。

答 近年の自転車事故では、加害者が高額な賠償責任を負う事例が発生し、保険加入の必要性が高くなっている。

そのため、市ホームページで自転車事故保険を紹介するとともに、警察と合同の街頭啓発活動や市の交通指導員による自転車交通安全教室で保険加入を呼びかけている。また、中学・高校・大学の新生に、交通ルールや利用マナーの理解と遵守を呼び掛けるとともに、保険加入の啓発チラシを配布している。

今後も広報紙への掲載等を含め、関係機関や学校等とも連携し周知に努める。



交通指導員による啓発チラシ配布

資産の有効活用で
新たな収入の確保を

問 例えば、固定資産税納付書の封筒に広告を募集しては。

答 本市では、ホームページ、広報紙等の印刷物などへ広告を募集し、平成26年度決算では約3,400万円の収入見込み。

現在、市税の基幹システムを再構築中で、システム稼働のタイミングに合わせて、封筒のサイズが大きくなり、広告のスペースもできる。28年度から広告募集を実施できるようにしたい。今後も、積極的に広告収入の取り組みを進めたい。

有害鳥獣の捕獲奨励金に
県の補助制度を活用

問 どのように活用するのか。

答 本市ではイノシシの捕獲に対し、通年1頭4,000円の奨励金を交付しているが、7月から9月の夏季期間は、県の補助を活用し4,000円の上乗せ助成をしている。

さらに、県が平成27年度に、11月15日から3月15日の猟期に狩猟により捕獲したイノシシとシカに対し、1頭4,000円を上乗せする制度を創設したことから、活用を検討したい。

農産物の販路拡大を支援

問 ブランド化をはじめ、果樹栽培等の振興・活性化の方策は。

答 白桃やぶどうなどの果物は、大都市圏の百貨店や卸売市場等でPR活動を行っている。

平成26年度からは、農と食の全国規模の展示商談会である「アグリフードEXPO」大阪会場への出展を支援しており、市が出展ブースを確保し、研修会を開催している。4団体からミニトマト、ネギ、千両なす、パクチーなどの野菜や果物の加工品が出展され、12件の商談が成立したと聞いている。

27年度は東京会場にも出展予定で、岡山産農産物の認知度向上と商談の成果を期待している。

用語解説 ※7 【総合型地域スポーツクラブ】

地域住民が主体となって運営・活動を行う地域に密着したスポーツクラブで、多世代の会員が複数のスポーツ種目を選択できる。文部科学省では、スポーツ振興基本計画の中で、全国各市区町村で一つ以上のクラブを育成するとしている

まちづくり・防災

未利用地活用に

民間のアイデアを募集

問 今後のスケジュールと対象施設、提案されたアイデアの取り扱いは。

答 平成27年7月中に新たに「岡山PPP交流広場」を通じて、福谷小学校跡地、大井小学校跡地、高田小学校跡地、福谷幼稚園跡地、高田幼稚園跡地及び豊小学校拡張用地の6件を対象に、民間アイデア募集を実施する。

提案されたアイデアを参考に売却条件等を検討し、年内にも改めて事業者を公募したい。

今後、未利用地の把握と仕分けをしっかり行い、できる限り早期に処分や有効活用ができるよう取り組みたい。

岡山駅西エリアの活性化にももちゃり活用

問 ポート設置の交渉状況は。

答 岡山駅西口エリアでの交通手段の充実、中心市街地全体の回遊性向上を図るため、サイクルポートを10カ所程度、自転車100台程度増やす予定。施設管理者の了解を得ている岡山駅西口広場の2カ所、岡山大学津島キャンパスの4カ所は、平成27年9月までに整備を進める。

また、岡山県総合グラウンドや岡山県生涯学習センター付近を候補地として、施設管理者等と協議を行っている。

公園のさらなる活用を

問 公園活用の課題とパークマネジメント導入の目標は。

答 本市の公園は、必ずしもその資源が有効に活用されていない。利用者のニーズに柔軟に対

応するためには、公園を運営するというパークマネジメントの視点を持つことが重要。

平成27年はマネジメントを積極的に行う公園を選定、類型化し、目標を設定していく。石山公園や西川緑道公園では、民間によるオープンカフェの可能性を探る社会実験や、その場所にふさわしい活動について、市民やNPO団体などと意見交換を行い、魅力的な公園にするための協働の仕組みを考える。

合併地区の公共施設を有効活用

問 旧瀬戸町水道庁舎を市民活動拠点として再利用できないか。

答 合併後5年間は水道局瀬戸出張所として使用していたが、平成24年3月末に出張所を閉鎖してからは空き庁舎となっている。現在、1階は書庫として利用しているが、2階会議室はほとんど利用されていない。

今後の活用については、閉鎖した水道局の事務所をコミュニティハウスとして貸し出している例もあることから、関係課等と協議していく。



空き庁舎となっている
旧瀬戸町水道庁舎

地域の課題解決に取り組む 町内会をホームページで紹介

問 手本を作成し、各町内会の底上げを図るべきでは。

答 近年、防犯・防災や環境対策など、地域における課題が増大し多様化する中で、町内会活動の重要性が再認識されている。地域課題の解決に向け積極的に取り組んでいる事例を平成27年中にホームページで広く紹介し、町内会活動の充実につなげたい。

御津・建部地域の 生活交通を守る取り組み

問 現行のコミュニティバスと併せて、^{※9}デマンド型タクシーを運行しては。

答 生活交通を持続可能なものとするには、地域住民が主体的に取り組むことが重要で、経路や運行形態も地域のニーズや特性に応じて検討する必要がある。

平成27年3月に、地域住民で組織する「御津・建部地域の生活交通を守り育てる会」に対し、幹線ではバスによる定時定路線運行、支線では乗用タイプ車両によるデマンド型運行の案を本市から提案している。

今後、具体案なども示しながら、同会と検討していく。

土砂災害危険箇所の調査結果

問 住民への周知は。

答 県が実施した現地調査をもとに、土砂災害の恐れがある区域を示した調査結果を、地元町内会の協力で各戸回覧により知らせている。

現在、地元住民からの調査依頼等によって新たに把握した危険箇所も含め、周知が必要な全1,484カ所のうち、1,288カ所の周知を行っている。残りの結果についても、平成27年度中にすべて周知できるよう取り組む。

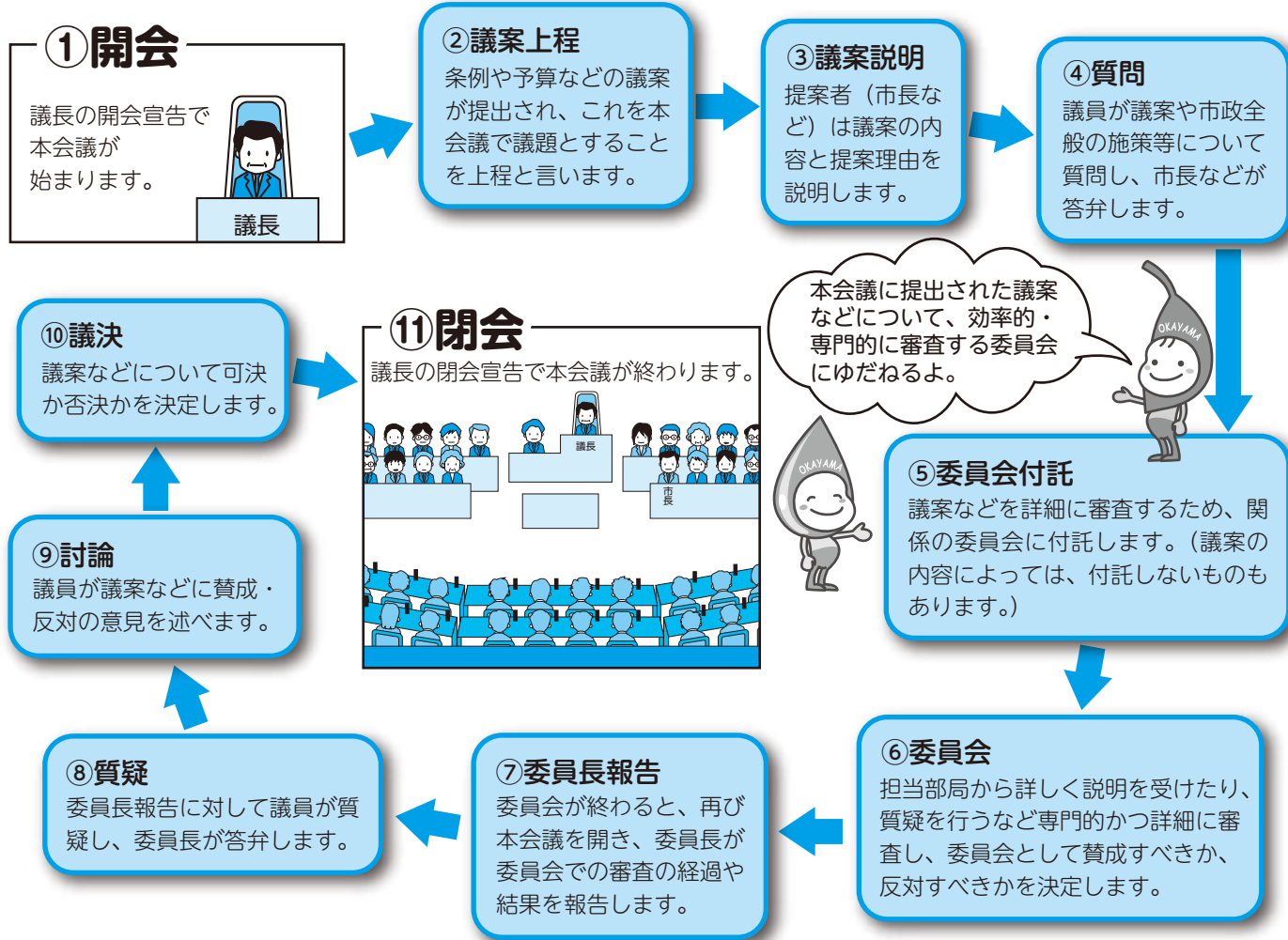
／用語解説 ※8 【岡山PPP交流広場】

市有施設の民間活用や民間施設を活用した公共サービスの提供など、PPP（多様な公民連携）の推進に賛同する参加団体の対話の場

※9 【デマンド型タクシー】

自宅や指定の場所から目的地まで、利用者の希望時間帯、乗車場所などの要望（デマンド）に、安価な料金で対応する公共交通サービス。乗り合いのため、他の利用者がいれば道順に回り、それぞれの目的地まで運行する

本会議の流れ



市議会日誌

【5月】	15日 議会運営委員会	10日 6月定例市議会開会
1日 市議会協議会	20日 議会運営委員会	18～22日 5会派による代表質問
14日～15日 5月臨時市議会	【6月】	22日～29日 28人の議員による個人質問
15日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会	3日 大都市制度調査特別委員会	【7月】
大都市制度調査、多様性のある社会実現調査、岡山市へ人を呼び込む魅力調査、防災対応力調査特別委員会	5日 議会運営委員会	1日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会
	8日 総務、保健福祉、環境消防水道、建設、市民文教委員会及び同協議会、経済委員会	3日 議会運営委員会
	9日 市民文教委員会及び同協議会	6日 6月定例市議会閉会
		13日 議会運営委員会

【次回定例市議会の開催予定】

平成27年9月定例市議会

- 《9月2日》本会議開会日
(議案-提案説明)
- 《9月8日～14日》本会議
(個人質問)
- 《9月16日》常任委員会
- 《9月24日》本会議最終日(採決)

【今号の表紙】夏の夜を彩る花火と岡山城

おかやま桃太郎まつりは8月1日、2日に開催予定で、今年も「うらじゃ」「納涼花火大会」など多彩なイベントが予定されています。ぜひお出かけください。

編集後記

改選後、初の定例市議会となる6月定例市議会では、会派の代表質問と個人質問を行い、新たな総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けた取り組みや、交通施策など市政全般にわたり活発な質問が繰り返されました。こうした議論が市政にしっかり生かされるよう議会としての役割を果たしてまいります。